



2021年12月22日

各 位

上場会社	フジテック株式会社
代表者	代表取締役社長 内山 高一
(コード番号	6406)
問合せ先責任者	取締役専務執行役員財務本部長 土畑 雅志
(TEL	072-622-8151)

### 中期経営計画に関するお知らせ

当社グループは、2022年度を初年度とする3カ年の中期経営計画“Vision 24”を策定いたしました。

詳細につきましては、添付資料をご参照下さい。

以 上

# FUJITEC

## Vision 24

---

中期経営計画（2022-2024）

2021年12月22日

フジテック株式会社



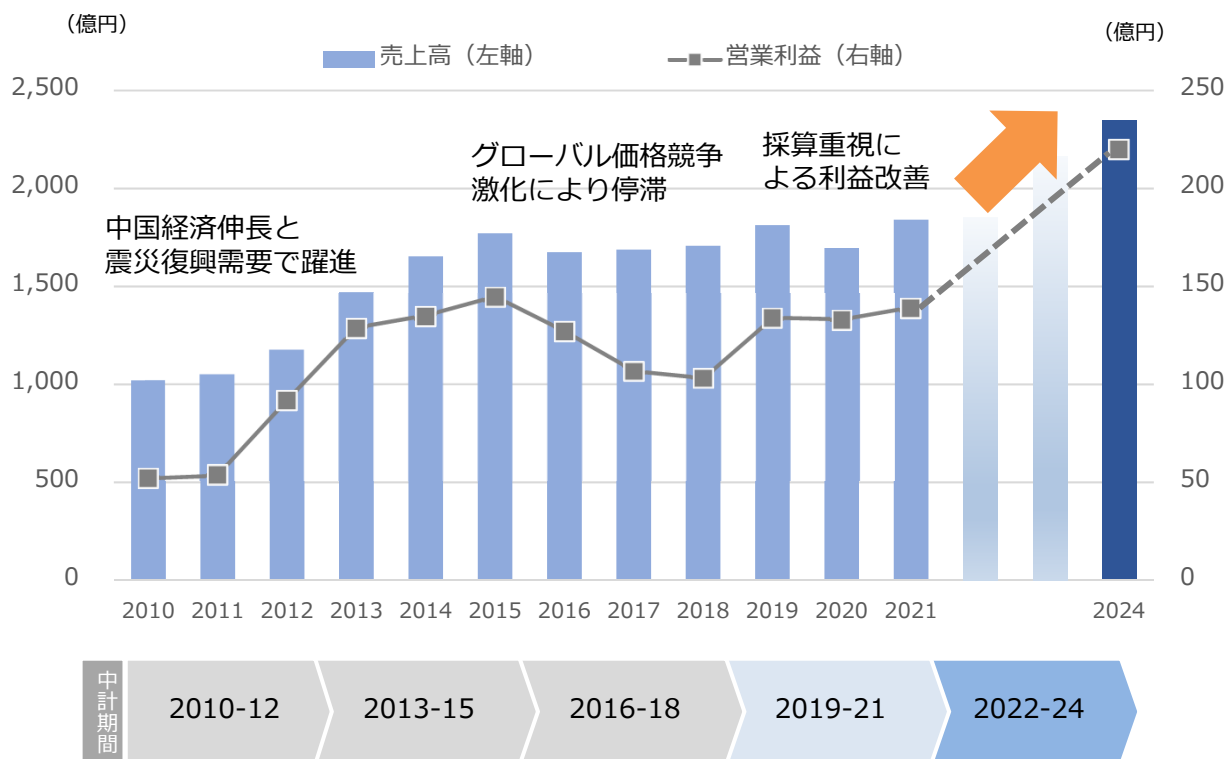
- 1. 「Vision 24」の骨子**
2. 各事業の戦略方針と実行計画
3. 投資計画と資本政策
4. ESG方針

# 過去の業績と中期経営計画の振り返り



「戦略的方向性」で公表した自己株式消却やガバナンス強化も着実に推進

### 売上高・営業利益推移



# 事業環境変化をもたらす世界のメガトレンド



アジア経済の台頭、環境規制、先進技術等の将来予測も考慮し、長期戦略を策定

## Politics (政策・法規制)

- 環境規制/炭素税の強化
- 再生可能エネルギー
- ナショナリズムの高まり

## Economy (経済)

- 世界経済のパワーシフト  
(中国、インド、インドネシアの成長)
- アジア経済成長の内需シフト
- 貿易摩擦と輸出入規制

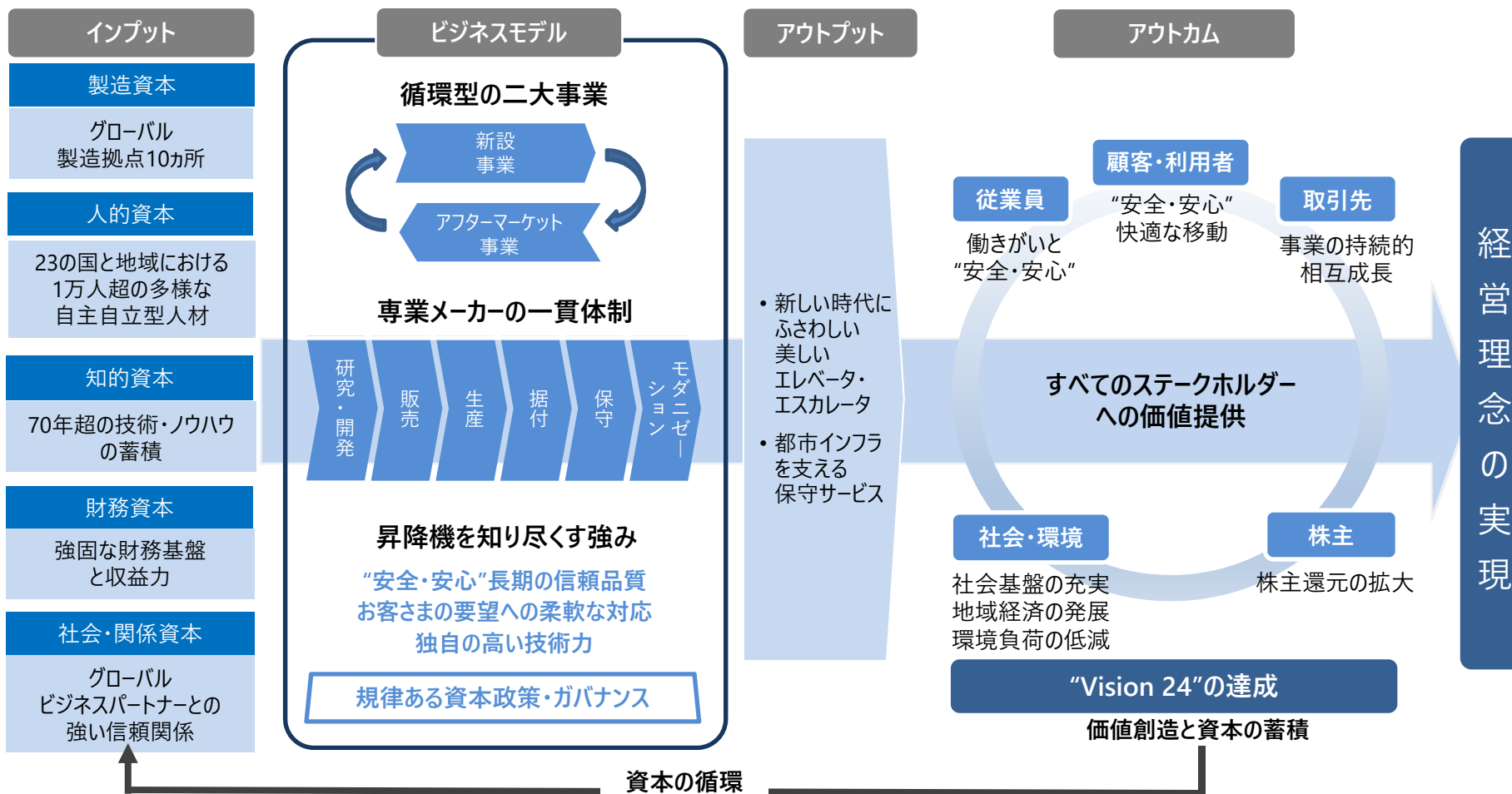
## Society (社会)

- 都市化の進展
- DXによる社会システムの変革
- 世界人口の構造変化とニーズの多様化  
(アジアやアフリカの台頭、高齢化)

## Technology (科学技術)

- 自動運転技術
- AI/機械学習
- ロボティクス

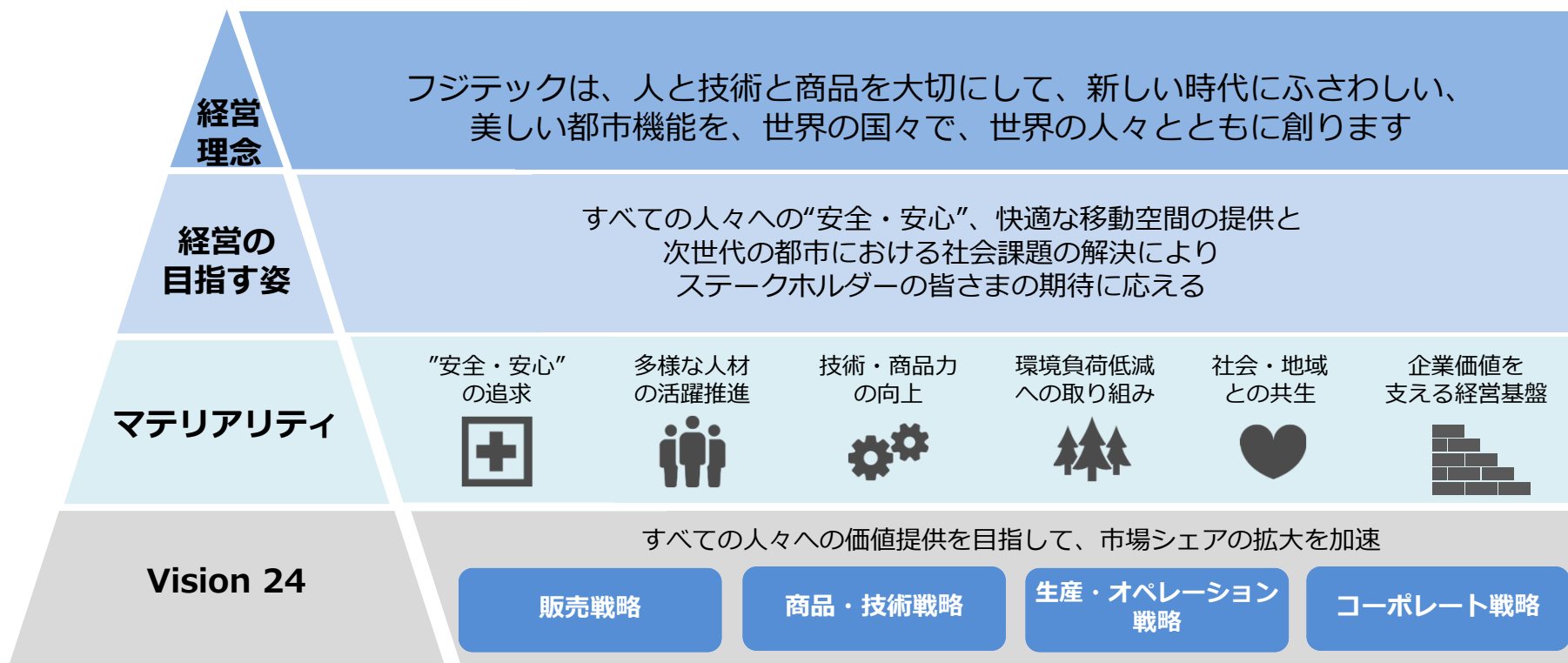
# 価値創造プロセス



# 経営理念とVision24



経営理念に基づき、経営の目指す姿、マテリアリティ、Vision24を策定



# Vision24の行動指針

FUJITEC

すべての人々への価値提供を目指して、市場シェアの拡大を加速

## 販売戦略

- 商品ラインナップ拡充による新市場・顧客の開拓・深耕

## 商品・技術 戦略

- 各拠点協働での戦略機種の開発・投入
- 環境対応商品の開発強化

## 生産・ オペレーション 戦略

- 各拠点連携での調達、次世代技術の導入によるコスト改革

## コーポレート 戦略

- 資本政策とガバナンス体制の強化
- グループ戦略推進体制の整備



## Vision24の最終年度目標（連結）

**FUJITEC**

<p><b>売上高※</b> <b>2,350億円</b> (21年度見込比+27.7%)</p>	<p><b>営業利益</b> <b>220億円</b> (21年度見込比+58.3%)</p>	<p><b>営業利益率</b> <b>9.4%</b> (21年度見込比+1.8PT)</p>
<p><b>ROE</b> <b>10.7%</b> (21年度見込比+2.8PT)</p>	<p><b>戦略投資</b> <b>680億円</b> (M&amp;A投資枠350億円含む)</p>	<p><b>配当性向</b> <b>50%以上</b> (21年度見込と同水準)</p>

※売上高目標値は、M&Aを含まないオーガニックグロースのみの数値

# 地域別セグメントの計画



地域戦略の実行で、事業拡大と利益率向上を目指す

(億円)	2024年度計画			2021年度見込		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
日本	860	78	9.1%	750	54	7.2%
東アジア	980	86	8.8%	730	51	7.0%
南アジア	250	31	12.4%	170	22	12.9%
米州・欧州	400	26	6.5%	280	13	4.6%
小計	2,490	221	8.9%	1,930	140	7.3%
消去	▲140	▲1	—	▲90	▲1	—
合計(連結)	2,350	220	9.4%	1,840	139	7.6%

1. 「Vision 24」の骨子
- 2. 各事業の戦略方針と実行計画**
3. 投資計画と資本政策
4. ESG方針

# 国内事業：最終年度目標と戦略方針



プロセス革新により新設・アフターマーケット事業を拡大

## 最終年度目標※

	2024年度	2021年度比
売上高	860億円	+14.7%
営業利益	78億円	+44.4%
営業利益率	9.1%	+1.9PT

※セグメント間消去前

## 戦略方針

- 1 プロセス革新とコストダウン推進による新設事業の拡大と収益性の改善
- 2 商品・サービスのラインアップ拡充によるアフターマーケット事業の拡大

# 国内事業：主要施策



## 商品、販売、調達のコスト改革と市場シェアの拡大を加速

### 戦略方針

### 主要施策

1

プロセス革新とコスト  
ダウン推進による  
新設事業の拡大  
と収益性の改善

- 標準機種「エクシオール」の拡販
- 各拠点連携での調達、標準機種の設計合理化等による原価低減

2

商品・サービスのライ  
ンアップ拡充による  
アフターマーケット  
事業の拡大

- モダニゼーション商品の展開※
- 部門間の連携強化による顧客開拓
- 次世代リモートメンテナンスによる更なる“安全・安心”の担保と業務効率の向上

※モダニゼーション商品とは、老朽化したエレベータ/エスカレータの効果的な予防保全の提案を目的とした、標準的な更新部品と再利用する既設部品を組合せた商品

# グローバル事業：最終年度目標と戦略方針

FUJITEC

成長市場における新設事業、成熟市場におけるアフターマーケット事業を拡大

## 最終年度目標※

	2024年度	2021年度比
売上高	1,630億円	+38.1%
営業利益	143億円	+66.3%
営業利益率	8.8%	+1.5PT

※セグメント間消去前

## 戦略方針

- 1 成長市場への積極投資による新設事業の拡大
- 2 成熟市場におけるアフターマーケット事業の拡大
- 3 コスト競争力の強化

# グローバル事業：主要施策

FUJITEC

各市場の状況に合わせ、新設/アフターマーケット事業拡大とコスト改革を実行

## 戦略方針

## 主要施策

1

成長市場への積極投資  
による新設事業の拡大

- 次世代標準機種の開発・拡販
- 生産能力の拡充

2

成熟市場における  
アフターマーケット  
事業の拡大

- モダニゼーション商品の開発・拡販
- 多様な保守サービス提供による契約率の向上

3

コスト競争力の強化

- 各拠点連携での調達力の強化と次世代技術の導入
- IT化推進による業務プロセス改革

# グローバル事業：成長市場における事業拡大

# FUJITEC

成長市場においては次世代標準機種の開発・拡販をすすめ市場シェアを拡大

中国

販売戦略

- 大型ジョブ獲得によるブランド力の向上
- ブランド力を梃子とした標準機種の拡販

商品・技術戦略

- 標準機種「ZEXIA」, 「REXIA」の更なる原価低減

生産・  
パ°レーション戦略

- 生産品目拡大・自動化/IT化による原価低減



上海静安72番街新設商業オフィスビル  
(中国・上海)

南  
ア  
シ  
ア

販売戦略

- インド国内の販売地域の拡大
- インド工場からの各国への供給・販売

商品・技術戦略

- 次世代標準機種の商品化および原価低減

生産・  
パ°レーション戦略

- 生産能力拡充のためのインド工場拡張



インド工場・研究塔  
(インド・チェンナイ)



# グローバル事業：成熟市場における事業拡大

# FUJITEC

## 成熟市場においてはモダニゼーション商品の開発と拡販を推進

北米・欧州

販売戦略

- ・モダニゼーション推進による保守台数の拡大

商品・技術戦略

- ・モダニゼーション商品ラインナップの拡充

生産・  
オペレーション戦略

- ・据付プロセス改善による原価低減



Two Liberty Place  
(米国・ペンシルバニア)

東アジア  
(中国除く)

販売戦略

- ・モダニゼーション推進による保守台数の拡大

商品・技術戦略

- ・モダニゼーション商品の原価低減

生産・  
オペレーション戦略

- ・調達部品の原価低減
- ・アフターマーケット事業強化による利益率向上



Three Garden Road  
(香港)

1. 「Vision 24」の骨子
2. 各事業の戦略方針と実行計画
- 3. 投資計画と資本政策**
4. ESG方針

# 投資計画（2022-24年度）



事業拡大とサステナビリティ推進に向けて大幅増を計画



( )内は対2019-21年度見込増減  
※研究開発費は環境対応技術強化を含む

# 資本政策・株主還元の基本方針

FUJITEC

キャッシュフロー創出力強化、明確な株主還元指針、資本コスト経営の導入

営業キャッシュ  
フローの最大化

- 営業キャッシュフローの適性な再投資による売上拡大
- 利益率と資産回転率向上によるC/Fマージン改善

成長投資と  
株主還元の両立

- 配当性向50%以上の維持とEPS向上による増配
- 成長再投資に必要なキャッシュを残し、株主に還元
- 自己株式は適正水準で保持

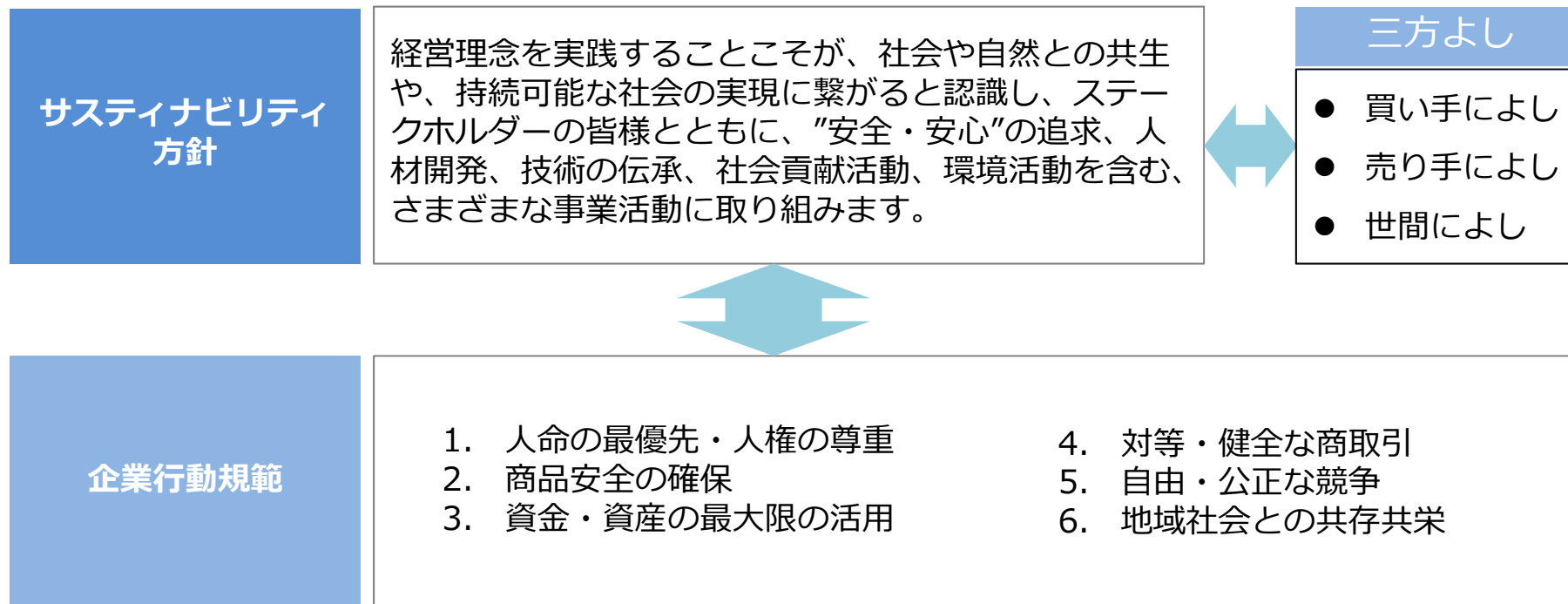
ROE目標と  
資本コスト認識

- ROE目標は10%以上
- 株主資本コストは8%

1. 「Vision 24」の骨子
2. 各事業の戦略方針と実行計画
3. 投資計画と資本政策
- 4. ESG方針**

# サステナビリティ方針

企業行動規範と三方よしの精神をもとに、サステナビリティ方針を規定



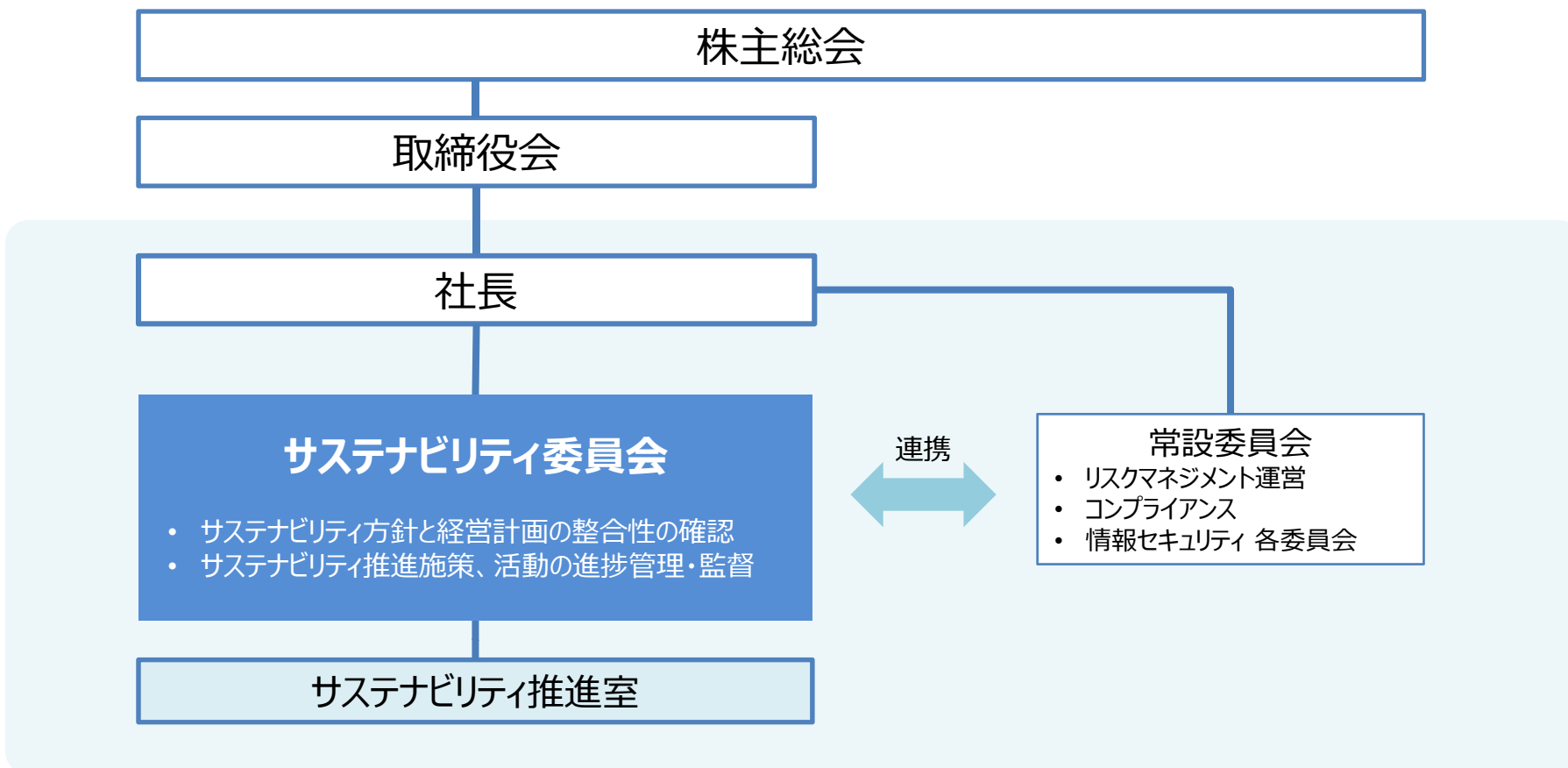
# マテリアリティと主要テーマ



マテリアリティ	SDGsゴール	主要テーマ
"安全・安心"の追求		利用者の"安全・安心"
		商品・サービスの"安全・安心"
		従業員の"安全・安心"
多様な人材の活躍推進		基本的人権の尊重
		多様な価値観を認め合う企業風土の醸成
		闊達・澆刺とした人材の育成
技術・商品力の向上		美しい都市機能の実現
		新しい時代にふさわしい技術革新
		強靱な社会インフラの提供
環境負荷低減への取り組み		気候変動に対応した低炭素社会への貢献
		省エネルギー対応力の強化
		商品ライフサイクルマネジメントの実践
社会・地域との共生		社会との調和
		地域との共栄
企業価値を支える経営基盤		コーポレートガバナンスの強化
		充実したステークホルダーコミュニケーション
		企業価値を支えるリスクマネジメント
		コンプライアンスの徹底

# サステナビリティ推進体制

マテリアリティの推進を目的に、サステナビリティ委員会を設立





# ESG情報開示とガバナンス強化の方針

## 環境対応の開示充実とガバナンス体制のさらなる強化

### ESG情報開示 の対応方針

- マテリアリティに関するKPI設定と情報開示
- TCFDに準拠した長期シナリオ分析及び機会/リスク開示
- 開示項目の現状調査と全社モニタリング体制の整備
- 統合報告書の作成・開示

### ガバナンス体制 のさらなる強化

- 買収防衛策の廃止 (2022年6月)
- 社外取締役の多様性の向上、取締役会のさらなる活性化
- ステークホルダー・コミュニケーションの深化、多様化
- リスクマネジメント体制の強化

# 人材開発方針



## ダイバーシティとグローバル人材開発を推進

### 経営人事 理念

フジテックに集う人々は、社会人としての人格を磨き、企業人としての能力を高め、国際人としての見識を深め、闊達な意思疎通と、澆刺とした行動力をもって、自己実現を図るとともに、会社の永遠の発展と繁栄を目指します

### 人材開発方針

- 新たなステージに向けた基盤として、個々のレベルアップを図り、闊達・澆刺とした人材を育成する
- 多様性を認め合う価値観の醸成、環境づくりを加速する

#### 責任ある業務経験と 各種プログラムを通じた人材育成

- グローバルで活躍できるマネジメント人材の育成
- 高い専門性を備えたエンジニアの育成

#### 多様な人材/柔軟な働き方を前提とした、 活発なコミュニケーションによる組織力の向上

- グローバル人材交流
- 多様な人材の登用
- 時間や場所を問わない柔軟な働き方

**FUJITEC**